



2021年12月期

決算補足説明資料

2022年2月10日

荏原実業株式会社



目次

1. 2021年12月期 サマリー

2. 事業概要

事業概要

メーカー事業（環境関連）一覧表

3. 2021年12月期 決算概要

決算報告

決算のポイント

セグメント別決算推移

セグメント別状況報告

受注高・売上高・受注残高・売上総利益の推移

4. 2022年12月期 事業計画

事業計画

計画の前提条件（セグメント別計画）

5. セグメント別戦略

メーカー事業（環境関連）

エンジニアリング事業（水処理関連）

商社事業（風水力関連）

6. 資本政策・株主還元

7. 新市場区分「プライム市場」移行のお知らせ

8. 資料編

2021年12月期 サマリー

2021年12月期 決算

- － 2期連続の最高益更新
- － 感染症対策製品の売上高増加、上下水道設備の更新案件も堅調

2022年12月期 事業計画

- － 感染症対策製品の需要減少に伴い小幅減益
- － 上下水道設備の更新需要、防災・減災需要は堅調に推移し、売上高は増加

中期経営計画「EJ2024」

- － 中期経営計画EJ2023は計画期間中に営業利益計画達成
- － 「EJ2023」を1年ローリングし「EJ2024」を新たに策定

株主還元

- － 配当性向35%を目安とした安定的・継続的配当を実施
- － 21年12月期年間配当金85円（前期比実質30円増配）
- － 22年12月期小幅減益見込みながら配当金85円を維持

新市場区分

- － 2022年4月よりプライム市場へ

事業概要

3つの事業 セグメント



メーカー事業 (環境関連)

環境関連製品・設備の開発・製造・販売

- 自社製品を扱う最も注力している事業
- 利益率が高く、売上総利益構成比50%を目標



エンジニアリング事業 (水処理関連)

上下水道設備の設計・施工・メンテナンス

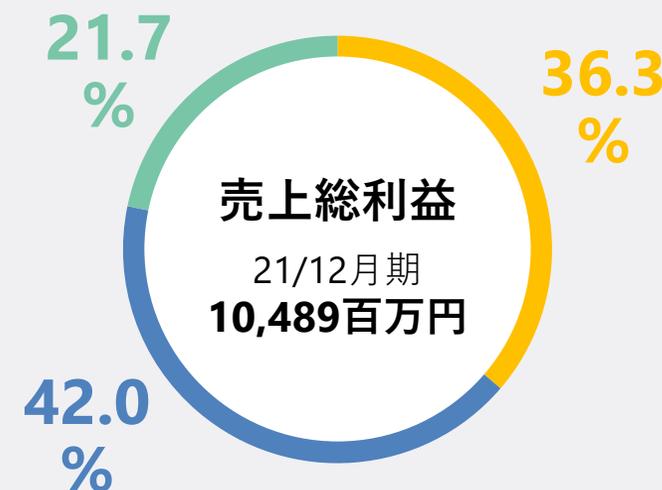
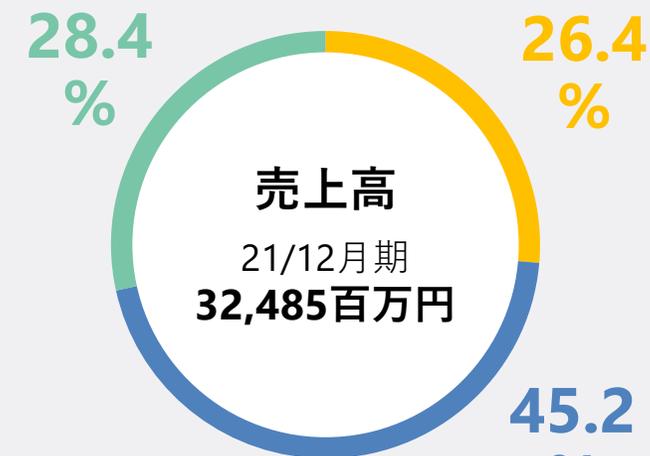
- 更新・修繕需要や防災需要は堅調
- 事業領域を開拓・拡大



商社事業 (風水力関連)

荏原製品を中心としたポンプ・送風機・空調冷熱機器等の代理店販売

- 主力のポンプのほか、新商材の取扱いにも注力
- 再開発案件に対応





メーカー事業（環境関連）一覧表

分野	事業内容	主要顧客	製品例			
計測	<ul style="list-style-type: none"> 主に水処理で使われる計測機器の製造及び販売 半導体分野向けの計測機器の製造及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設（高度浄水施設、下水処理施設） 民間工場（半導体、液晶、食品など） 	高精度オゾンモニタ		半導体用オゾンモニタ	
省エネ・創エネ	<ul style="list-style-type: none"> ZEB・ZEH関連製品の開発、設計、施工及び販売 省エネブロワを中心とする送風機の製造及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> 民間企業（空調機メーカー、オフィスビルなど） 民間工場（食品、飲料、製紙、化学など） 	住宅用蓄電池		省エネブロワ	
脱臭	<ul style="list-style-type: none"> 産業用脱臭剤を中心とする脱臭剤・装置の製造及び販売 生物脱臭・脱硫装置の設計、製作及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設（下水処理施設、農業集落排水施設） 民間工場（食品、飲料など） 商業施設（除害設備） 	腐植質脱臭剤		生物脱硫装置	
水処理プラント	<ul style="list-style-type: none"> 産業用水設備・産業排水処理施設の設計及び施工 栽培漁業・養殖業及び水景施設向けエンジニアリング 	<ul style="list-style-type: none"> 民間工場（食品、飲料、製紙、化学など） 公共施設（水産試験場など） 	高効率砂ろ過器		海水電解殺菌装置	
医療	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策、救急災害対策等、医療関連機器の開発及び販売 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関、自治体、中央官庁など 民間企業、民間工場など 	簡易陰圧装置		オゾン室内消毒装置	

2021年12月期 決算報告

売上高

22.4億円増 (7.4%↑)

受注高

10.1億円増 (3.0%↑)

営業利益

7.7億円増 (23.9%↑)

受注残高

25.3億円増 (11.1%↑)

当期純利益

8.2億円増 (34.9%↑)

(単位：百万円)	2019/12		2020/12		2021/12		前年同期比	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)	増減率(%)	増減額
売上高	28,431	100.0	30,250	100.0	32,485	100.0	+ 7.4	+ 2,235
売上総利益	7,621	26.8	9,010	29.8	10,489	32.3	+ 16.4	+ 1,479
販管費	5,596	19.7	5,795	19.2	6,507	20.0	+ 12.3	+ 712
営業利益	2,024	7.1	3,214	10.6	3,982	12.3	+ 23.9	+ 768
経常利益	2,169	7.6	3,363	11.1	4,110	12.7	+ 22.2	+ 747
当期純利益	1,512	5.3	2,342	7.7	3,159	9.7	+ 34.9	+ 817
受注高	28,220	-	34,000	-	35,014	-	+ 3.0	+ 1,014
受注残高	18,978	-	22,727	-	25,256	-	+ 11.1	+ 2,528

2021年12月期 決算のポイント

市場環境

- 上下水道設備の更新需要が堅調に推移、国土強靱化基本計画に基づく防災・減災需要も増加
- コロナ禍で民間設備投資は停滞
- 感染症対策製品は補助金範囲の縮小に伴い需要減少傾向

売上高

前年同期比

+22.4億円 (7.4%↑)

- 上下水道設備更新案件、防災・減災案件が増加
- 感染症対策製品が増加
- 民間設備投資は停滞し、民間工場向け案件、水産案件が減少

売上総利益

前年同期比

+14.8億円 (16.4%↑)

- 感染症対策製品、上下水道設備更新案件の売上高増加により売上総利益増加
- 全てのセグメントで売上総利益率上昇
(全社売上総利益率29.8%⇒32.3%へ)

営業利益

前年同期比

+7.7億円 (23.9%↑)

- 人件費、減価償却費、広告宣伝費等の増加により販管費増加
- 売上総利益の増加により増益

受注高

前年同期比

+10.1億円 (3.0%↑)

- 感染症対策製品の需要減少
- 上下水道更新需要、防災減災需要の増加

受注残高

前年同期比

+25.3億円 (11.1%↑)

- 感染症対策製品の需要減少に伴いメーカー事業で受注残高減少
- エンジニアリング事業、商社事業は受注残高増加

2021年12月期 セグメント別決算推移

(単位：百万円)		2019/12	2020/12	2021/12	前年同期比	
					増減率(%)	増減額
 メーカー事業 (環境関連)	受注高	5,328	8,972	7,240	▲19.3	▲1,731
	売上高	5,296	7,456	8,563	+14.9	+1,107
	売上総利益	2,105	3,011	3,803	+26.3	+792
 エンジニアリング事業 (水処理関連)	受注高	12,072	15,748	17,435	+10.7	+1,687
	売上高	12,544	13,155	14,683	+11.6	+1,528
	売上総利益	3,355	3,752	4,403	+17.4	+651
 商社事業 (風水力関連)	受注高	10,818	9,278	10,338	+11.4	+1,060
	売上高	10,590	9,639	9,238	▲4.2	▲401
	売上総利益	2,159	2,246	2,281	+1.6	+35

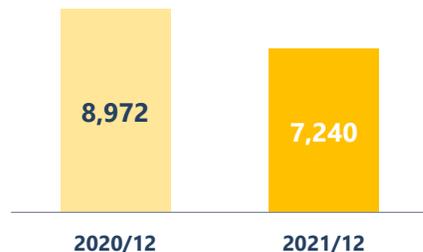
セグメント別 状況報告

メーカー事業 (環境関連)

受注高

(単位：百万円)

▲17.3億円
(▲19.3%)



売上高

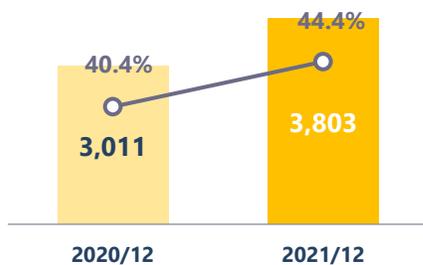
+11.1億円
(+14.9%)



売上総利益

売上総利益率

+7.9億円
(+26.3%)



受注高

(単位：百万円)

分野	増減要因	増減
計測	● 公共向け更新需要は谷間、半導体関連需要が増加	+198
省エネ・創エネ	● コロナ禍で蓄電池の認証が遅れるが、ZEB関連製品が増加	+97
脱臭	● 生物脱臭・脱硫装置増加	+210
水処理プラント	● コロナ禍で民間工場向け、水産需要は計画程増加せず前期並み	+16
医療	● 感染症の収束と補助金範囲縮小により、感染症対策製品減少	▲2,253

売上高

(単位：百万円)

分野	増減要因	増減
計測	● 公共向け更新需要は谷間、半導体関連需要が増加	+126
省エネ・創エネ	● 公共向け省エネプロワ減少	▲99
脱臭	● 脱臭剤の更新需要は安定的に推移	+7
水処理プラント	● 前期大型化学工場向け排水プラントの反動減	▲596
医療	● 期首受注残を出荷し、感染症対策製品の売上高増加	+1,669

売上総利益率40.4%から44.4%へ上昇

- 売上高増加に伴い売上総利益も増加
- 医療分野の増加がセグメント全体の売上総利益率を押し上げる

セグメント別 状況報告



エンジニアリング事業 (水処理関連)

受注高

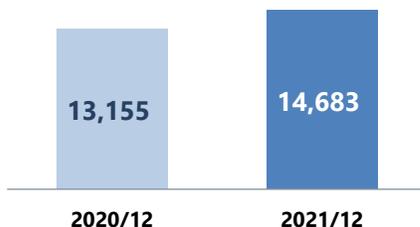
+16.9億円
(+10.7%)



- 上下水道設備更新案件、国土強靱化基本計画に基づく防災・減災需要堅調の増加によって市場環境は良好

売上高

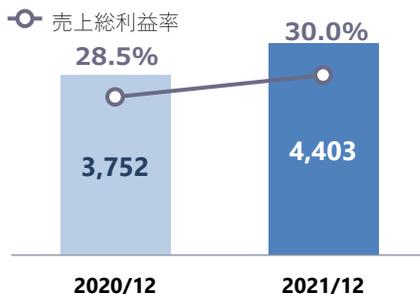
+15.3億円
(+11.6%)



- 上下水道設備の更新案件が引き続き増加
- 雨水排水設備等の防災・減災案件も増加

売上総利益

+6.5億円
(+17.4%)



- 選別受注、原価低減活動、業務効率化などによる売上利益率の上昇



商社事業 (風水力関連)

受注高

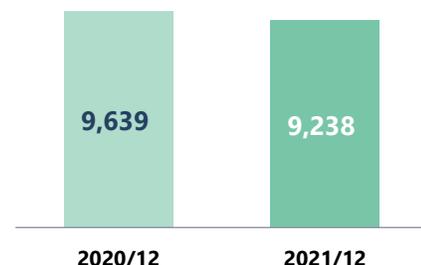
+10.6億円
(+11.4%)



- コロナ禍で民間設備投資が停滞するものの、空調関連機器の大口案件が寄与し総額では増加

売上高

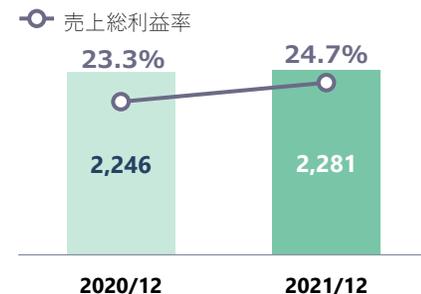
▲4.0億円
(▲4.2%)



- コロナ禍で民間設備投資が停滞

売上総利益

+0.4億円
(+1.6%)



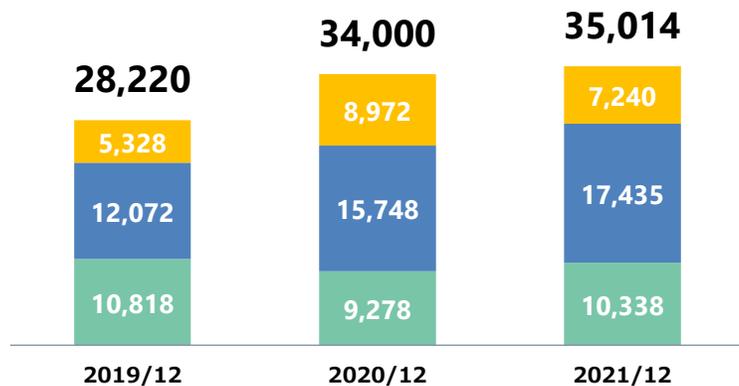
- 選別受注、原価低減活動、業務効率化などによる売上利益率の上昇によって売上高減少の影響を最小限に留める

受注高・売上高・受注残高・売上総利益の推移

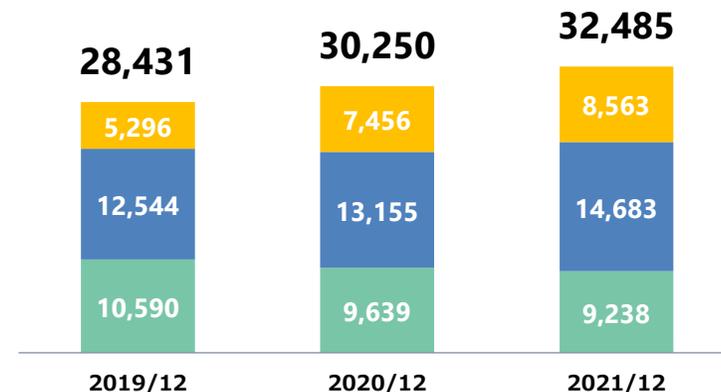
■ メーカー ■ エンジニアリング ■ 商社

(単位：百万円)

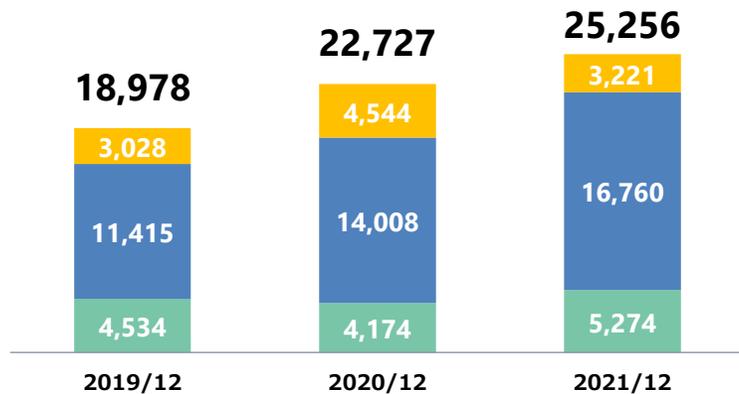
受注高の推移



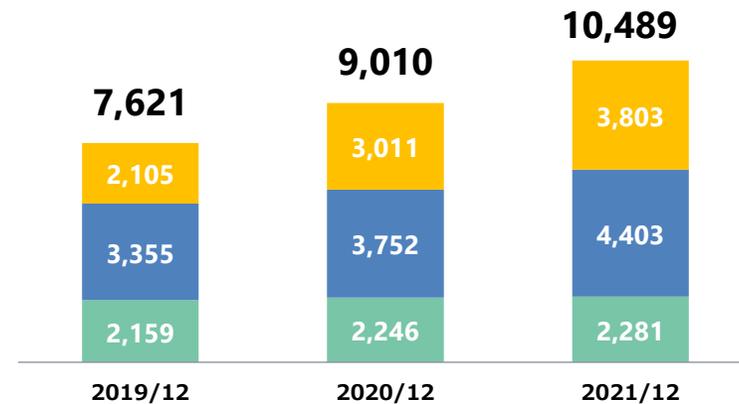
売上高の推移



受注残高の推移



売上総利益の推移



2022年12月期 事業計画

増収減益

- メーカー事業では蓄電池等の省エネ・創エネ分野で需要増加を見込むものの、医療分野の需要は減少
- エンジニアリング事業は上下水道設備の更新需要、防災・減災需要が引き続き堅調に推移
- 商社事業は民間設備投資の緩やかな回復を見込む

(単位：百万円)	2020/12月期 実績		2021/12月期 実績		2022/12月期 計画		前期比	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)	増減率(%)	増減額
受注高	34,000	-	35,014	-	36,000	-	+2.8	+986
売上高	30,250	100.0	32,485	100.0	35,000	100.0	+ 7.7	+ 2,515
売上総利益	9,010	29.8	10,489	32.3	10,400	29.7	▲ 0.8	▲ 89
販管費	5,795	19.2	6,507	20.0	6,600	18.9	+ 1.4	+ 93
営業利益	3,214	10.6	3,982	12.3	3,800	10.9	▲ 4.6	▲ 182
経常利益	3,363	11.1	4,110	12.7	3,950	11.3	▲ 3.9	▲ 160
当期純利益	2,342	7.7	3,159	9.7	2,800	8.0	▲ 11.4	▲ 359
1株当たり配当金	55円	-	85円	-	85円	-	-	-

※1株当たり配当金については、2021年7月1日付で1：2の株式分割を実施、遡及修正を行った数値を掲載しています。

計画の前提条件（セグメント別計画）



メーカー事業（環境関連）計画

受注高・売上高

- 感染症対策製品の需要減少
- 蓄電池の認証取得により省エネ・創エネ事業が本格化
- 計測分野で公共向け更新案件増加、半導体向け需要も増加

売上総利益

- 売上高の減少に伴い売上総利益率も減少
- 医療分野減少の影響大、省エネ・創エネ分野は増加



エンジニアリング事業（水処理関連）計画

受注高

- 上下水道更新案件、防災・減災需要は堅調に推移

売上高

- 受注残高を背景に増加

売上総利益

- 前期並みの売上総利益率を確保し、売上高増加に伴い売上総利益増加



商社事業（風水力関連）計画

受注高

- 民間設備投資需要の緩やかな回復を見込む

売上高

- 受注残高の増加に伴い売上高は増加

売上総利益

- 売上高は増加するものの、前期高利益率案件無くなる

販管費

研究開発費等の増加により、約1億円の増額を計画

営業利益

売上総利益の減少と販管費の増加により営業利益は減益

メーカー事業 (百万円)	2021/12	2022/12 計画		前期比	
		構成比(%)	増減率(%)	増減額	
受注高	7,240	7,500	-	+ 3.6	+ 260
売上高	8,563	7,500	100.0	▲ 12.4	▲ 1,063
売上総利益	3,803	3,150	42.0	▲ 17.2	▲ 653

基準の40%以上

エンジニアリング事業 (百万円)	2021/12	2022/12 計画		前期比	
		構成比(%)	増減率(%)	増減額	
受注高	17,435	17,500	-	+0.4	+ 65
売上高	14,683	16,500	100.0	+ 12.4	+ 1,817
売上総利益	4,403	4,950	30.0	+ 12.4	+ 547

売上総利益の維持

商社事業 (百万円)	2021/12	2022/12 計画		前期比	
		構成比(%)	増減率(%)	増減額	
受注高	10,338	11,000	-	+ 6.4	+ 662
売上高	9,238	11,000	100.0	+ 19.1	+ 1,762
売上総利益	2,281	2,300	20.9	+ 0.8	+ 19

前期高利益率案件あり
利益率はやや低下



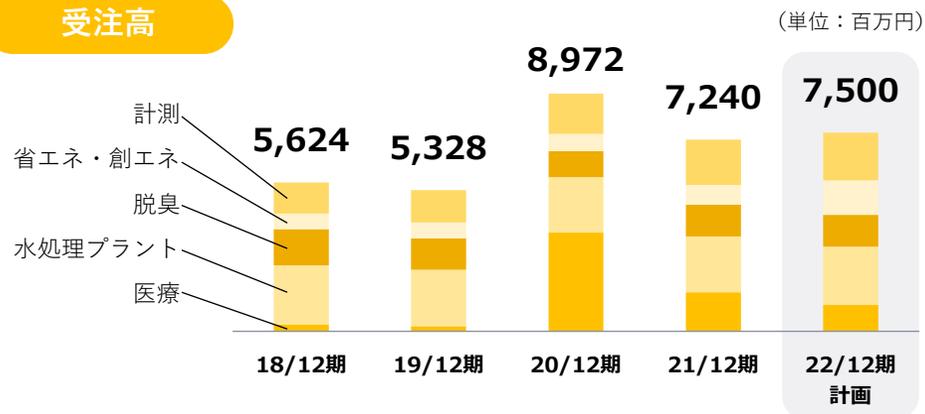
セグメント別戦略 ～メーカー事業（環境関連）～

成長の核とすべく、ニッチ戦略と事業領域の拡大を進める

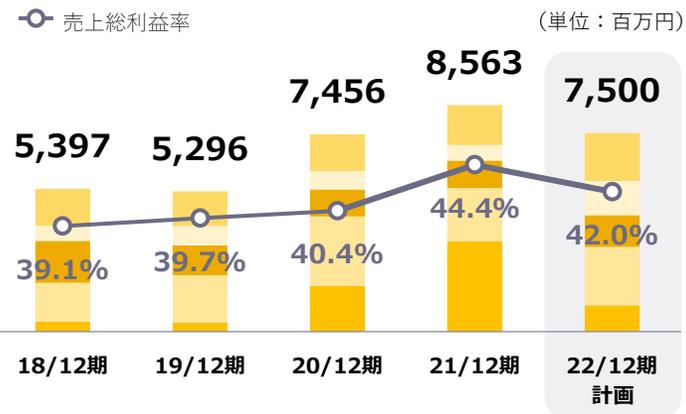
業績動向

- 半導体向け需要は堅調に推移
- ZEB市場へ進出
- 民間工場の設備投資回復には時間がかかる。水産関連設備投資は回復の兆しあり
- 感染症対策製品の需要減少

受注高



売上高



※各分野の推移詳細は、本冊子末の「セグメント別業績推移(通期)」をご参照ください。

当社の戦略

1. 新製品の投入

- 蓄電池の認証取得により、ZEB市場へ本格参入
- ウィズ/アフターコロナに対応した感染症対策製品の投入

2. 現有製品群のブラッシュアップ

- 実績のある製品のより一層の収益性向上
- 「高度処理」「省エネ」「AI/IoT」「環境負荷軽減」「安心安全」のニーズに対応する形で競争力を強化

3. メンテナンス・サービスの強化

- アフターサービスを充実させ、外部環境に左右されない収益基盤として育成



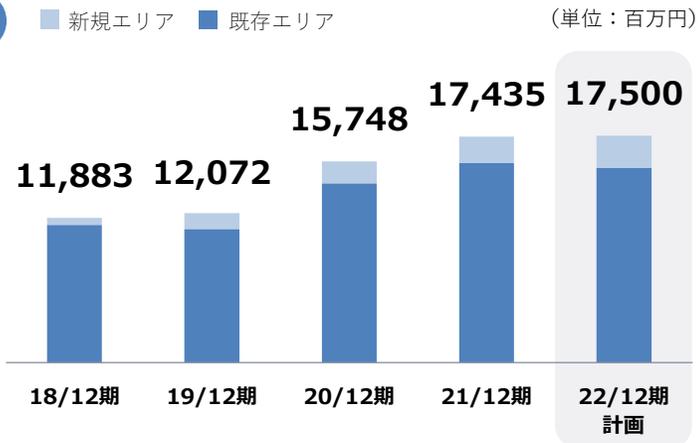
セグメント別戦略 ～エンジニアリング事業（水処理関連）～

顧客軸・製品軸の両面から、事業領域を開拓

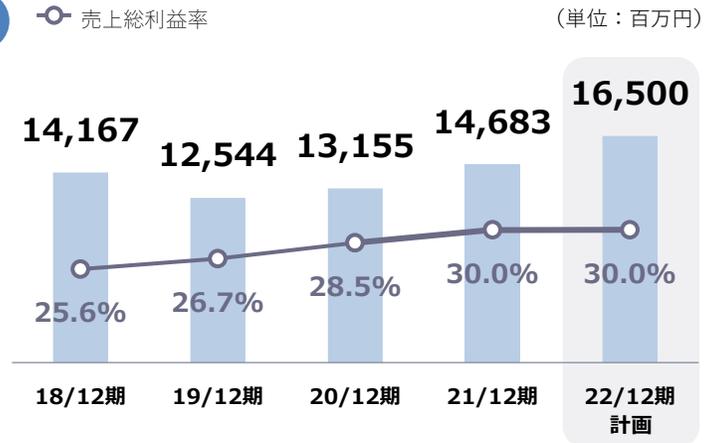
業績動向

- 上下水道施設更新需要、防災・減災需要は引き続き堅調に推移
- 売上高は受注残高を背景に増加

受注高



売上高



当社の戦略

1. 選別受注、積算技術の向上、原価意識の徹底

- 施工能力の向上・価格競争力の向上に向けた協力会社との連携強化

2. 実績の少ないエリアでの受注活動の強化

- 北海道地区で防災・減災関連の大型案件獲得

3. 防災・減災需要への対応

- 国土強靱化基本計画に基づく防災・減災需要に対応した技術・製品の提供



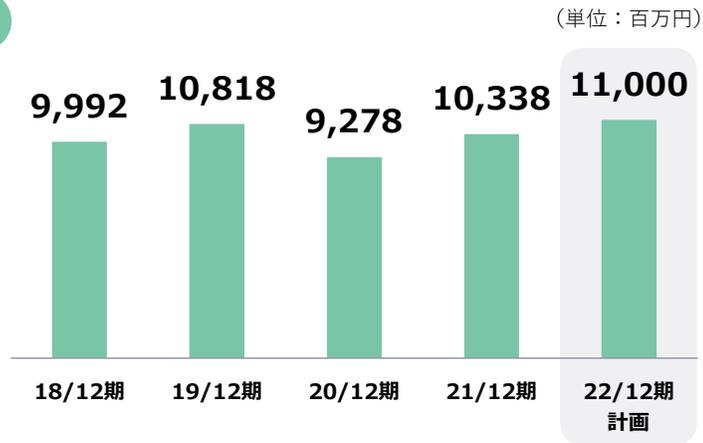
セグメント別戦略 ～商社事業（風水力関連）～

創業以来の礎である収益基盤を着実に強化

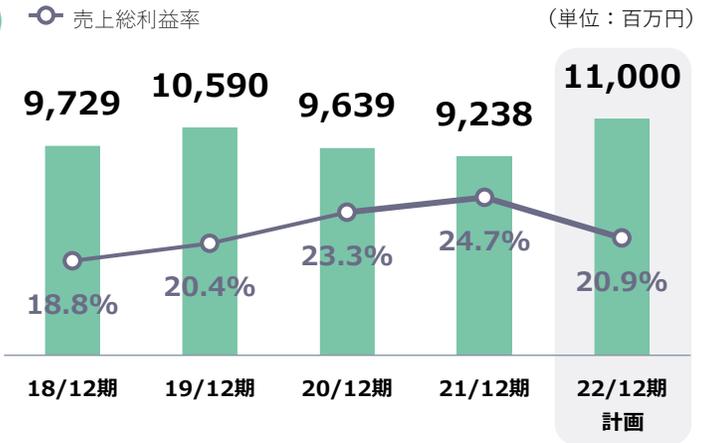
業績動向

- 民間設備投資は回復傾向
- 受注残高増加により売上高増加

受注高



売上高



当社の戦略

1. ゼネコン・サブコン・メーカーとの連携強化

- 上流段階からの対応力向上とコスト競争力の向上

2. 多様な顧客層へのアプローチ

- 的確な対応と提案営業強化
- 豊富な納入実績を活用した新規顧客の開拓

株主還元・資本政策

株主還元

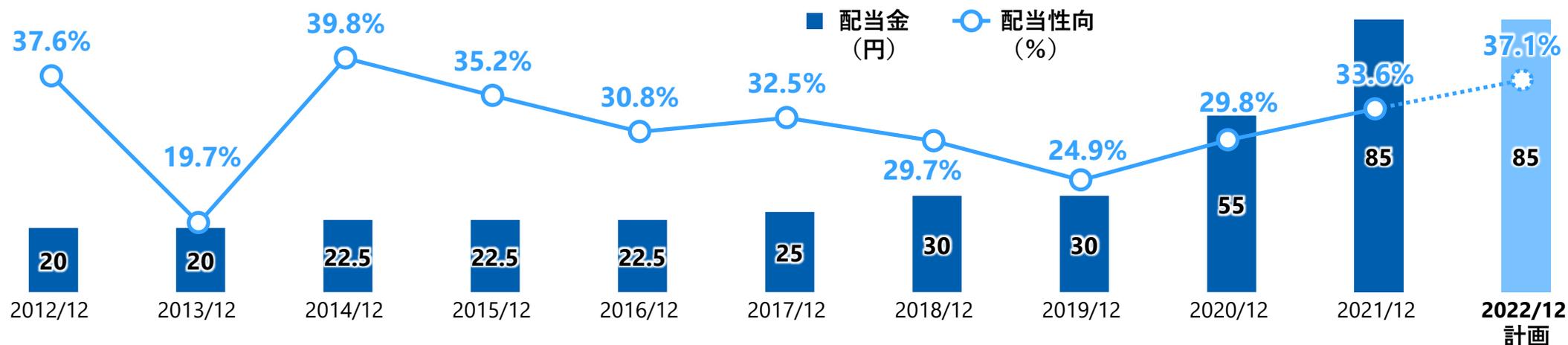
基本方針

配当性向**35%**を目安に、
安定的かつ継続的な利益還元を実施

		2020/12 実績	2021/12 予定	2022/12 予想
配当金	年間	55.0円	85.0円	85.0円
	中間	15.0円	37.5円	42.5円
	期末	40.0円	47.5円	42.5円
配当性向		29.8%	33.6%	37.1%

※2021/12 配当金は、2022年3月開催の定時株主総会に付議する予定です
 ※2021年7月1日付で1：2の株式分割を実施、遡及修正を行った数値を掲載しています。

1株当たり年間配当金の推移



自己株式取得額

2.7億円

5.7億円

10.0億円

資本政策・株主還元

1. 株式分割

投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、株式の流動性向上と投資家層の拡大を図るために、2021年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を実施

2. 株主還元

(基本方針)

- 連結配当性向35%を目安に安定的な配当を継続的に実施
- 利益還元の一つとして、資金需要・株価水準等を考慮しながら、機動的に自己株式取得を実施

① 配当

配当方針に基づき、1株当たり年間配当金を期初予想70円から85円に増配

1株当たり配当金	期初予想	2021/12 予定
第2四半期末	35.0円	37.5円
期末	35.0円	47.5円
合計	70.0円	85.0円

※2021/12 配当金は、2022年3月開催の定時株主総会に付議する予定です
※2021年7月1日付で1：2の株式分割を実施、遡及修正を行った数値を掲載しています。

② 自己株式の取得

取得価額総額	10億円
取得した株式の総数	373,800株 (発行済株式総数に対する割合3.03%)
取得期間	2021年8月～11月

新市場区分「プライム市場」移行に関するお知らせ

2022年1月11日付で株式会社東京証券取引所より公表された
「上場会社による新市場区分の選択結果」のとおり

2022年4月4日より

「プライム市場」へ移行



資料編



セグメント別戦略・概要 ～メーカー事業（環境関連）～

計測分野

事業概要

- オゾンモニタを中心とする計測機器の製造及び販売
- 主な販売先は、上下水道の高度処理施設や液晶・半導体工場（国内トップシェア）
- 売上の半分をメンテナンスが占めており、業績は安定

市場環境

- 上下水道高度処理向けオゾンモニタの更新案件は収穫期へ
- 半導体向け需要は堅調に推移
- 半導体や樹脂部品の調達に懸念、製品製造のリードタイム長期化のおそれ

事業戦略

- 海外展開に向けての足掛かりをつくる
- 販路拡大に向けた用途開発
- 環境配慮型の新製品開発
- 製品ラインナップの拡充
- 既存顧客の深堀による事業領域の拡大
- 産学連携研究開発の推進



高精度オゾンモニタ



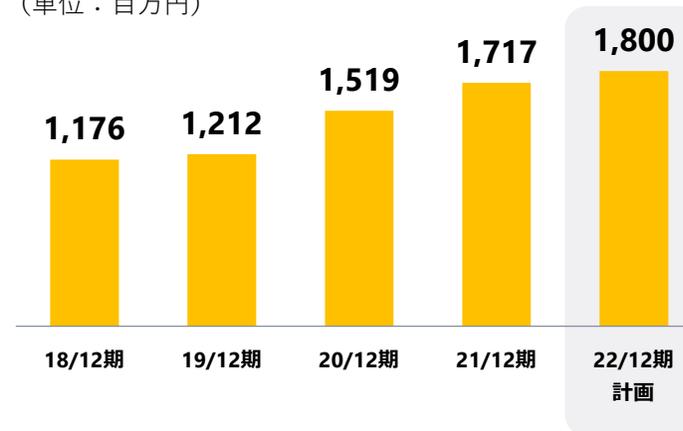
半導体用オゾンモニタ



多項目水質計器



(単位：百万円)





セグメント別戦略・概要 ～メーカー事業（環境関連）～

省エネ・創エネ分野

事業概要

- 太陽光発電パネルや蓄電システム等、ZEH関連製品の開発及び販売
- 高効率のターボブロワを中心とする送風機の製造及び販売
- MMR空調機・除湿機等、ZEB関連製品の開発、設計及び施工

市場環境

- 政府「SDGsアクションプラン2022」の主要施策に、ZEB・ZEHなどのエネルギー利用効率向上の方針が明記され、大型の予算（約1,700億円）が付与
- 蓄電池の需要につながる、太陽光発電設備を備えた卒FITの住宅が増加
- 国内ZEB認定数は、建築コストが壁となり、漸増傾向ながら伸び率は緩やか

事業戦略

- 住宅用蓄電システムは認証取得が完了し、商社・ハウスメーカーと連携した本格販売に移行
- 省エネブロワは、顧客ターゲティングに基づく営業活動を継続。アフターメンテナンスを強化
- MMR空調機及び除湿機は、スペックイン（設計段階での当社製品の採用）を推進。性能向上とコストダウンに向けた改良を継続



住宅用蓄電池

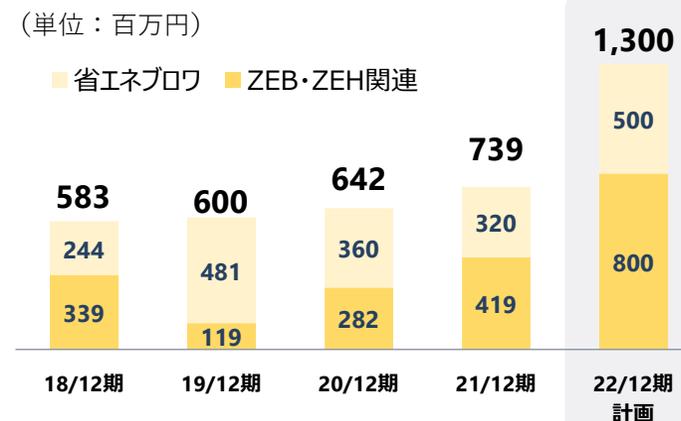


MMR空調機



省エネブロワ（民間向け）

省エネ・創エネ分野受注高





セグメント別戦略・概要 ～メーカー事業（環境関連）～

脱臭分野

事業概要

- 腐植質由来の産業用脱臭剤を中心とする脱臭剤・脱臭装置の製造及び販売
- 主な販売先は、下水処理場と工場等の除害施設

市場環境

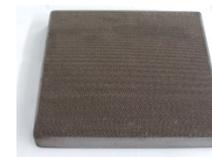
- 産業用脱臭剤の市場は成熟市場
- 主力の脱臭剤ボエフは活性炭と競合。長寿命、高湿度環境で優位等の特徴
- 都市圏では雨水地下貯留施設の整備需要が増加（脱臭フィルタの需要増）

事業戦略

- 産業用脱臭剤は、装置の工事を伴わない物販を推進
- 脱臭フィルタは、内製化推進（コスト低減）と雨水地下貯留施設の需要へ対応
- 脱臭剤、脱臭フィルタの製造時のCO₂発生量の少なさをてこに、脱炭素化に向けた提案を促進
- 生物脱硫装置は、プラントメーカーや再エネコンサルなど販売チャンネルを強化



ボエフ（腐植質脱臭剤）



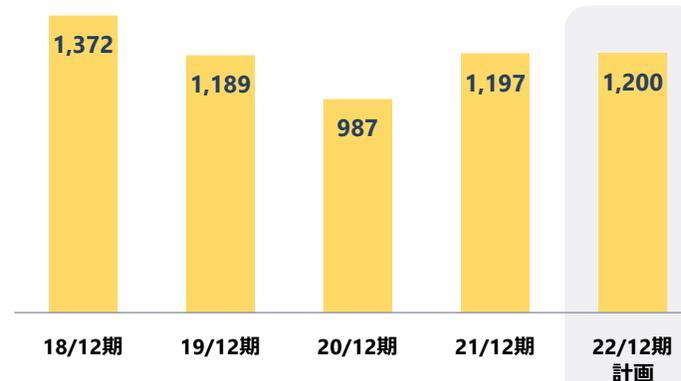
EKOフィルタ



生物脱硫装置



（単位：百万円）





セグメント別戦略・概要 ～メーカー事業（環境関連）～

水処理プラント分野

事業概要

- 産業用水設備・産業排水処理施設の設計及び施工
- 養殖施設の設計及び施工、養殖業・栽培漁業向け装置の製造及び販売
- 噴水等、水景施設の設計及び施工

市場環境

- 化学、食品、飲料業界では、新型コロナウイルスの影響により、排水設備工事等が延期。顧客訪問の制限も営業活動の重荷
- ランニングコストの削減や省人／省エネ化の需要は中長期的には拡大傾向
- 水産業界では、コロナ禍で水産物需要が減少し、民間養殖施設向けの需要が停滞

事業戦略

- 産業用水設備と産業排水処理施設は、既存顧客の別事業所などへ向けた水平展開を実施
- 水処理×IoT/AI領域における事業機会の探索
- 陸上養殖システムの黎明期から蓄積した技術をもとに、新魚種の閉鎖循環システム構築へ向けた取り組みを強化



排水処理設備

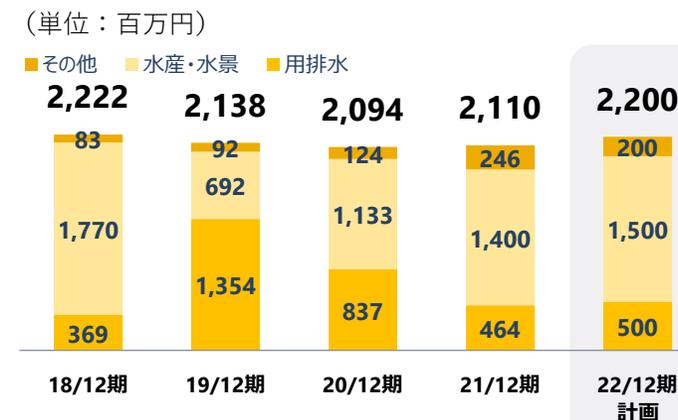


海水電解殺菌装置



エコスイング（砂ろ過器）

水処理
プラント分野
受注高





セグメント別戦略・概要 ～メーカー事業（環境関連）～

医療分野

事業概要

- 感染症対策製品の開発、設計、販売及びサービス
- 主に、全国の医療機関及び社会福祉施設へ納入
- 簡易陰圧装置は、2003年の販売開始以降、300か所超の納入実績を有する
- 空気清浄除菌脱臭装置（FDSシリーズ）は、当社がフクダ電子株式会社より受託し、OEM供給

市場環境

- 新型コロナウイルス感染症の落ち着きとともに、引き合いは減少傾向
- 医療機関向け以外に社会福祉施設向け等の新たな需要も発生
- 感染症対策製品に対する補助金は対象範囲を縮小するものの継続の見込
- 感染症との共存社会に向けた新たな需要の発生

事業戦略

- アフター／ウィズコロナに対応した新製品開発
- 累積納入台数を生かしたメンテナンス・サービス事業の拡大
- 災害医療分野への進出



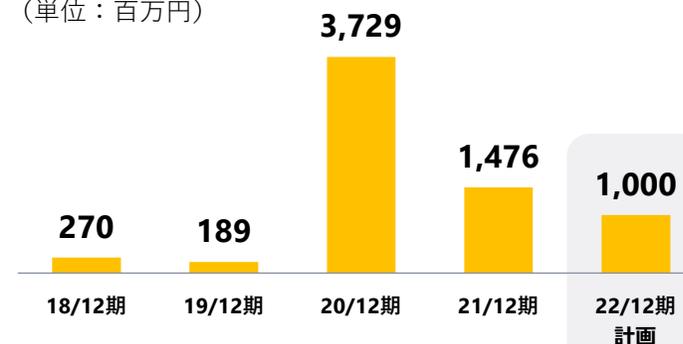
簡易陰圧装置



空気清浄除菌脱臭装置
(医療従事者向け)



(単位：百万円)





感染症対策製品の需要動向

動向

- 3月までに前期受注残を出荷したため、売上は大幅増加
- 簡易陰圧装置ACEシリーズは、インフルエンザ整備として継続されていた補助金を利用した整備が多い。病院独自予算や、その他の補助金も活用
- 空気清浄機FDSシリーズは、薬局やクリニックに対する国と県の補助金に適合。過去最高の出荷台数を記録
- 今後、感染症対策製品に対する補助金範囲は縮小

医療関連 (百万円)	20/12月期	21/12月期	前期比	
			増減率 (%)	増減額
受注高	3,729	1,476	▲60.4	▲2,253
売上高	1,733	3,402	+96.3	+1,669

- 令和4年度の補助金動向に迅速に対応
- メンテナンス事業の体制を強化し、アフタービジネス拡大
- 2022年12月期に新製品の小型陰圧装置を販売開始
- アフター/ウィズコロナに対応した新製品開発

簡易陰圧装置

ACEシリーズ

- プレフィルタ、紫外線ランプ、酵素HEPAフィルタのトリプル構造により、設置空間の空気感染リスクを低減
- CDC（アメリカ疾病管理予防センター）ガイドライン「空気予防策」に準拠
- 後付け可能で、既存の部屋を容易に陰圧環境に



《ACE-5000》

空気清浄除菌脱臭装置

FDSシリーズ*

- ハイパワー紫外線+抗菌HEPAフィルタによる強力な除菌効果
- ハイブリッド脱臭システムにより、アンモニア、ホルムアルデヒド、酢酸等のガスを迅速に脱臭

* FDSシリーズは、当社がフクダ電子株式会社より受託しOEM供給



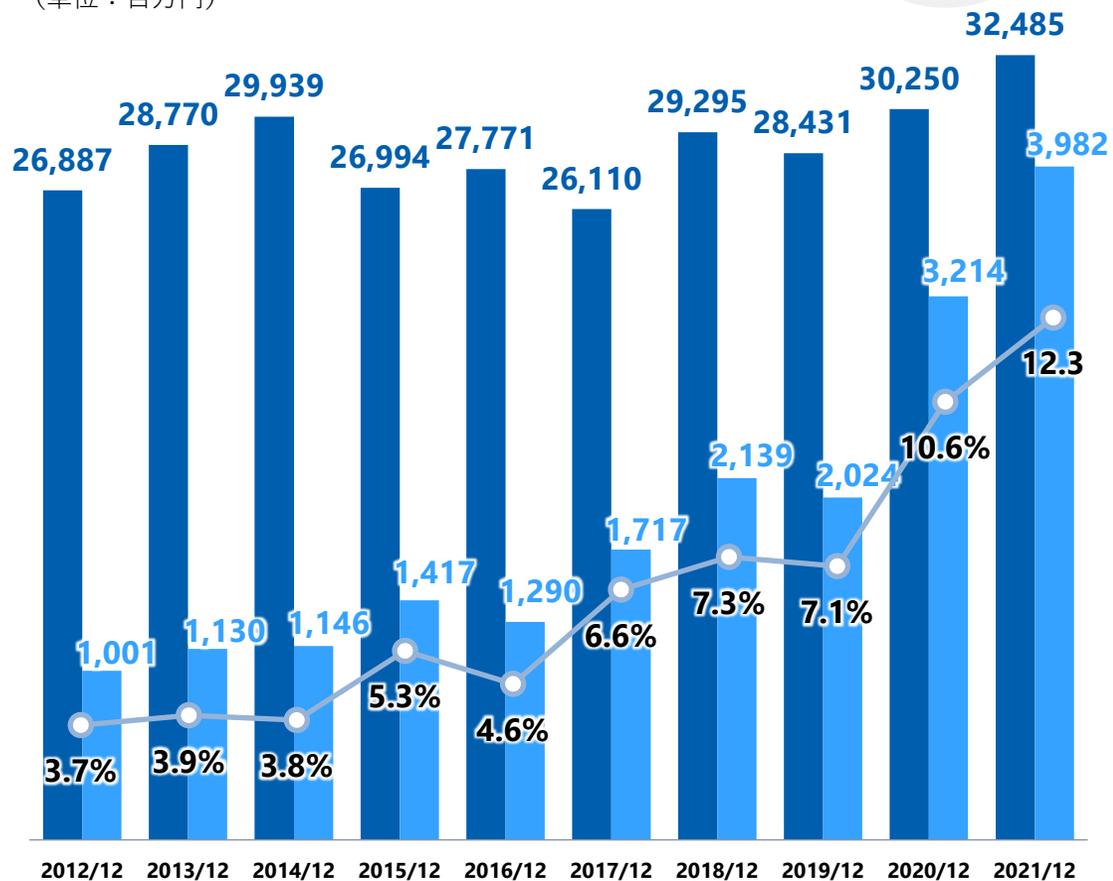
《FDS-ZERO》

業績推移（過去10年間の業績）

売上高・営業利益の推移

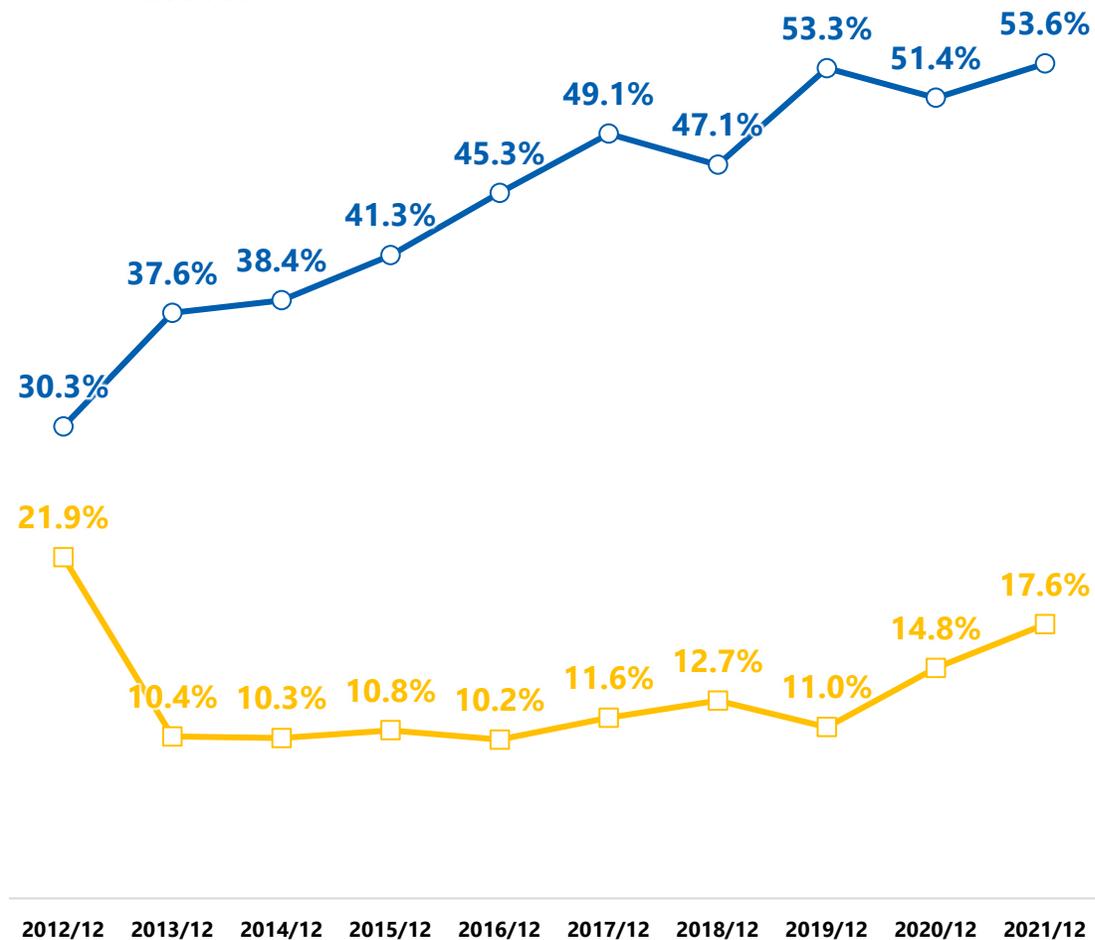
■ 売上高 ■ 営業利益 ○ 営業利益率

(単位：百万円)



ROE・自己資本比率の推移

○ 自己資本比率 □ ROE



セグメント別業績推移（通期）

(単位：百万円)		18/12月期		19/12月期		20/12月期		21/12月期		22/12月期	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	計画	前期比
受注高	計測	1,176	△20.0%	1,212	+3.1%	1,519	+25.3%	1,717	+13.0%	1,800	+4.8%
	省エネ・創エネ	583	△23.5%	600	+2.9%	642	+7.0%	739	+15.1%	1,300	+75.9%
	脱臭	1,372	△9.4%	1,189	△13.3%	987	△17.0%	1,197	+21.3%	1,200	+0.3%
	水処理プラント	2,222	△7.2%	2,138	△3.8%	2,094	△2.1%	2,110	+0.8%	2,200	+4.3%
	医療	270	△21.5%	189	△30.0%	3,729	+1873.0%	1,476	△60.4%	1,000	△32.2%
	メーカー（環境関連）	5,624	△13.3%	5,328	△5.3%	8,972	+68.4%	7,240	△19.3%	7,500	+3.6%
	エンジニアリング（水処理関連）	11,883	△21.6%	12,072	+1.6%	15,748	+30.5%	17,435	+10.7%	17,500	+0.4%
	商社（風水力関連）	9,992	+0.2%	10,818	+8.3%	9,278	△14.2%	10,338	+11.4%	11,000	+6.4%
	連結合計	27,500	△13.0%	28,220	+2.6%	34,000	+20.5%	35,014	+3.0%	36,000	+2.8%
売上高	計測	1,390	+11.5%	1,304	△6.2%	1,388	+6.4%	1,514	+9.1%	1,800	+18.9%
	省エネ・創エネ	572	△24.8%	734	+28.3%	689	△6.1%	590	△14.4%	1,300	+120.3%
	脱臭	1,588	+59.8%	1,118	△29.6%	1,016	△9.1%	1,023	+0.7%	1,200	+17.3%
	水処理プラント	1,454	△29.9%	1,784	+22.7%	2,629	+47.4%	2,033	△22.7%	2,200	+8.2%
	医療	393	+0.3%	356	△9.4%	1,733	+386.8%	3,402	+96.3%	1,000	△70.6%
	メーカー（環境関連）	5,397	△1.3%	5,296	△1.9%	7,456	+40.8%	8,563	+14.9%	7,500	△12.4%
	エンジニアリング（水処理関連）	14,167	+27.7%	12,544	△11.5%	13,155	+4.9%	14,683	+11.6%	16,500	+12.4%
	商社（風水力関連）	9,729	+1.9%	10,590	+8.8%	9,639	△9.0%	9,238	△4.2%	11,000	+19.1%
	連結合計	29,295	+12.2%	28,431	△2.9%	30,250	+6.4%	32,485	+7.4%	35,000	+7.7%
売上総利益	メーカー（環境関連）	2,108	△4.8%	2,105	△0.1%	3,011	+43.0%	3,803	+26.3%	3,150	△17.2%
	エンジニアリング（水処理関連）	3,621	+19.2%	3,355	△7.3%	3,752	+11.8%	4,403	+17.4%	4,950	+12.4%
	商社（風水力関連）	1,827	△7.7%	2,159	+18.2%	2,246	+4.0%	2,281	+1.6%	2,300	+0.8%
連結合計	7,557	+4.5%	7,621	+0.8%	9,010	+18.2%	10,489	+16.4%	10,400	△0.8%	
販管費	5,417	△1.8%	5,596	+3.3%	5,795	+3.6%	6,507	+12.3%	6,600	+1.4%	
営業利益	2,139	+24.6%	2,024	△5.4%	3,214	+58.8%	3,982	+23.9%	3,800	△4.6%	
営業外収益	211		210		209		230		200		
営業外費用	99		65		61		102		50		
経常利益	2,252	+21.8%	2,169	△3.7%	3,363	+55.0%	4,110	+22.2%	3,950	△3.9%	
特別利益	-		-		3		338		-		
特別損失	-		-		27		57		-		
税引前利益	2,252	+21.8%	2,169	△3.7%	3,339	+53.9%	4,392	+31.5%	3,950	△10.1%	
当期純利益	1,600	+18.3%	1,512	△5.5%	2,342	+54.9%	3,159	+34.9%	2,800	△11.4%	



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。